

受付番号

18

承認番号

大歯医倫 第 110859 号

研究課題名

アイトラッカーを用いて食品に対する嗜好が視線に及ぼす影響

研究責任者

田中 昌博

申請者

安井 由香

所属

有歯補綴咬合学講座

所属

歯学研究科 有歯補綴咬合学専攻

職名

主任教授

職名

大学院 1 年生

申請の概要

わが国では高齢化に伴い、高齢者の健康維持が重要な課題となっている。特に 65 歳以上の高齢者のうち、推計 15% が認知症であると厚生労働省の調査で明らかになっている。多くの高齢者は、食べたいと思う食品形態での食事摂取ができず、視覚により食イメージが悪化し、食欲減退の原因となっていると考えられている。そこで、本人の好物を食事に出すことによって栄養摂取を図っている。しかし、認知症患者の多くは意志疎通が困難であり、食品の好き嫌いの判断が難しいのが現状である。その一方、無意識下で興味対象を判別することが出来るアイトラッキングシステムという手法が、多方面で応用されている。アイトラッキングシステムとは、人の注視点を認識し、注視点および注視時間を計測することが可能であり、マーケットリサーチ、発達心理学、眼科学、ニューロサイエンスなどの様々な領域で活用されている。

そこで本研究では、基礎的研究として若年成人および高齢者の食品の嗜好と視線の関連について明らかにしていく。好きな食品に注視点が停留することが分かれば、アイトラッキングシステムを認知症患者に応用し、食品の提供方法を工夫することで、栄養摂取の向上が期待できると予測される。